

粕壁地区公民館・粕壁南公民館

◇運営の基本方針

生涯学習の視点から、地域における学習意欲を醸成するため、各世代を対象とした学習機会の提供を行い、豊かな人間性を養い、もってより良い地域づくりを進める。

◇重点施策

- 1 各層、各期の学習ニーズを取り上げ、それに対応する事業を実施するとともに参加者の自主的な活動を推進する。
- 2 人々の集うスポーツ大会を実施し、地域の連帯感と親睦を深める。
- 3 幼児期において、家庭の教育力の活性化を促す事業を推進する。
- 4 青少年の健全育成のための事業を推進する。

◇重点事業

- 1 「かすかべカフェ」「コミセン茶屋」
- 2 粕壁地区体育祭
- 3 「粕南フェス」(公民館まつり)
- 4 幼児家庭教育学級
- 5 音楽鑑賞会



粕壁南公民館

粕壁地区公民館

所在地 〒344-0061 春日部市粕壁6918番地1 (中央公民館内)

TEL 048-752-3080 FAX 048-754-0158

E-mail chuokou@city.kasukabe.lg.jp

粕壁南公民館




所在地 〒344-0064 春日部市南一丁目12番23号






TEL 048-738-0088 FAX 048-738-0088

E-mail kasunankou@city.kasukabe.lg.jp

| | | | | |
|----|-----------|-------------------|-----------|-------------------|
| 職員 | 館長(兼務) | 川辺 孝 | 主幹(兼務) | 金子 忠之 |
| | 主査(兼務) | 須藤 俊英 | 主査(兼務) | 梅 寿孝紀 |
| | 主任(兼務) | 岩本 一 (社会教育主事) | 主任(兼務) | 大澤 恵太 (社会教育主事) |
| | 主任(兼務) | 高島 美香 (社会教育主事) | フルタイム(兼務) | 落合 珠美 |
| | フルタイム(兼務) | 松江 恵美子 | フルタイム(兼務) | 白須 紀美子 |

粕壁地区 1

| | | | | | | | | |
|-------------------------|--|--|------------------|---|----------------------|----------------------|---|--|
| 事業名 テーマ | 教養講座「健康をかんがえる」 | | 対 象 | 一般 | | 定 員 | 4 0 人 | |
| ね ら い | 健康意識を高めることで、春日部市における健康寿命の延伸を図る。併せて、継続的な講座の実施により健康をきっかけにした地域リーダーの育成を図るもの。 | | | | | | | |
| 協力機関 及び団体 | 共催：第1地域包括支援センター 協力：介護保険課 | | 特 色 位置づけ | 原則毎週実施 | | SDGsの 目標No | 4・11 | |
| 会 場 | 中央公民館 講堂、ギャラリー | | 教 材 資 料 等 | 教材は、講師・スタッフで準備 | | | | |
| 実施までの 経 過 | 3月 令和5年度開催に向けた 8～10月 打合せ 12～1月 学習講座実施に向けた 講師打合せ | | P R 方法 | 令和4年度の参加者に直接連絡 『公民館だより』による公募 | | | | |
| | | | 受付方法 | 年度途中に新参加者を募集 公民館だより 8月号掲載 | | | | |
| 月 日（曜） | 時 間 | 内 容 | 方法 | 参加者 | | | 講師・助言者の職名 | |
| 回 数 | 総時間数 | | | 男 | 女 | 合計 | 氏 名 | |
| | | 合計 | 合計 | | | | | |
| 4月5日（水） ～ 3月6日（水） | 10：00～11：15 | 準備運動 （そらまめ体操） 春日部えんJOYトレーニング 11月15日、12月6日、2月 28日（いずれも（水））は えんJOYトレーニング終了後 「学習講座（医療公開講座）」 を実施 各回11：20～11：50 | 実習 講義 | 77 上記に含む 77 | 1015 1015 | 1092 1092 | えんJOYトレーニング サポーターのみなさん 第1地域包括支援センター職員 介護保険課職員 春日部中央総合病院 地域医療連携室  | |
| 41回 | 51時間45分 | | | | | |  | |
| 企画運営 上の工夫 | 運営に際しては介護保険課が主催する所定のサポーター養成講座を修了した方に指導的な立場を担う「サポーター」として活躍いただき、主体的に取り組んでもらった。日本人の平均寿命は令和元年で男性81.41歳、女性87.45歳、一方で健康寿命は男性72.68歳、女性75.38歳となっており（厚生労働省）、健康寿命と平均寿命に差があることがわかる。平均寿命と健康寿命との差が乖離するとなれば、医療費や介護給付費の多くを消費する期間が増大。そのため、身近な地域の施設である公民館で、継続的な健康維持増進の取り組みをすることにより健康寿命の延伸を図ることが期待される。 | | | | | | | |
| 成 果 参加者の 声など | 年間を通じ、継続して事業を実施することができた。一部、講堂 移動観覧席の故障により開催を中止した日程もあるが、参加者に対し多数の活動機会を提供することができた。参加者からは「毎週、参加することが楽しみ」との声も多くある。また、健康体操だけでなく、外部講師を招いた健康に関する学習講座を複数回実施することができた。 | | | | | | | |
| 課題と展望 | 第1地域包括支援センターと共催することで、専門的な指導・助言を仰ぎながら様々な関係団体との連携を図り、健康に関する学習講座の実施なども継続していく。現状、継続して多数の参加者を得ているが、介護保険課との連絡調整を図り、事業開設当初の方針に立ち返ったうえで、参加者間での自主運営（サークル化）や、参加者の積極的なサポーター養成講座受講などを促進しなくてはならない。 | | |  | | | | |

| 事業名 テーマ | 教養講座「かすかべカフェ」 | | 対象 | 一般 | | 定員 | 各回 15～30名 |
|-------------------|--|--------------------------------|------------|----------------------|---------|---------------|---|
| ねらい | 毎月木曜日（第2木曜日）を中心に、一つのテーマをもとに気軽な雰囲気の中で、講師による講義及び参加者相互の意見交換等を通して、暮らしに役立つ知識・技術を身につける機会として実施する。ご近所の居場所づくり事業と位置付け、モデル的な取り組みを行う。（※かつては飲み物を飲みながら開催していたが当面の間、飲み物の提供は行わない） | | | | | | |
| 協力機関 及び団体 | 協力：各講師の所属する団体 | | 特色 位置づけ | 年間を通した事業 各種団体との連携 | | SDGsの 目標No | 4・11 |
| 会場 | 中央公民館 2階 大会議室 ほか | | 教材 資料等 | 教材は、講師・スタッフで準備 | | | |
| 実施までの 経過 | 協力スタッフとともに実施内容を検討し、通常、毎月の開催時に来月開催分の申込受付を開始する | | PR方法 | 公民館だより各号 | | | |
| | | | 受付方法 | 中央公民館へ直接または電話で申込み | | | |
| 月日（曜） | 時間 | 内 容 | 方法 | 参加者 | | | 講師・助言者の職名 氏 名 |
| 回数 | 総時間数 | | | 男 合計 | 女 合計 | 合計 | |
| 4月27日（木） | 13:30～15:30 | 太極拳で転倒予防と免疫力アップ | 実習 | 4 | 6 | 10 | 藤田 葆雄 |
| 5月11日（木） | 13:30～15:00 | 気功～ゆっくりした呼吸で免疫力アップ～ | 実習 | 2 | 35 | 37 | 神田 廣美 春次 ナナ子 |
| 6月27日（火） | ①13:30～14:30 ②15:30～16:30 | 高齢者向けスマホ教室 ～スマホ操作の基本～ | 実習 | 9 | 3 | 12 | 市役所行政デジタル 改革課職員 |
| 7月27日（木） | 13:30～15:00 | MYライフ&エンディングを考えよう | 講義 | 4 | 7 | 11 | 明治安田生命保険 相互会社 |
| 8月24日（木） | 13:30～15:00 | おいしく・楽しく・健康に！ ～正しい間食の取り入れ方～ | 講義 | 5 | 11 | 16 | 春日部中央総合病院栄養科 渡邊 綾香、林 美沙 |
| 9月14日（木） | 13:30～15:00 | 健康体操の基礎・ストレッチ体操 | 実習 | 4 | 20 | 24 | 岩崎 サト子 |
| 11月16日（木） | 13:30～15:30 | 絵手紙を書いてみよう ～自分らしく、真心込めて～ | 実習 | 2 | 5 | 7 | 黒川 悦子 |
| 1月11日（木） | 13:30～15:00 | 五十肩の鍵を握る知識 | 講義 | 2 | 5 | 7 | 春日部中央総合病院 リハビリテーション科 理学療法士 澤 雄作 |
| 2月15日（木） | 9:30～11:30 | 自然観察会 | 実習 | 4 | 10 | 14 | 埼玉県生態系保護 協会春日部支部 |
| 3月 2日（土） | 13:30～15:30 | ほんやく・おんがく 4 | 講義 | 58 | 196 | 254 | 早乙女 弘枝、品川 尚子、萩原 幸子、宮澤智子、福原 真吾 |
| 10回 | 17時間30分 | | | 94 | 298 | 392 | |
| 企画運営 上の工夫 | 公民館をより身近に感じてもらうためにも、比較的手軽に体験できる内容を計画していく。また、時節に合った関心の高いテーマを設定すべく、生涯学習市民推進員や関心のある市民の方に参画いただき、手づくりの事業を目指す。 | | | | | |   |
| 成果 参加者の 声など | 計10回の様々な分野の学習機会を地域に提供することができた。受講後のサークル加入等を望む声もあったりと、公民館の役割である「つどろ・まなぶ・むすぶ」の理念に基づいて事業展開することができた。 | | | | | |   |
| 課題と展望 | 内容設定に際しては比較的自由度のある事業だけに、地区の生涯学習市民推進員をはじめ、今後も、様々な人材に運営に関わってもらい、運営面、内容面ともに厚みのある事業を展開したい。併せて、粕壁南公民館事業との精査を図り、よりより講座運営に繋げていきたい。 | | | | | |  |

| | | | | | | | | |
|--------------------|---|--|--------------|-------------------|---------|-----|--|-----------|
| 事業名 テーマ | 婦人講座 | | 対 象 | 一般、粕壁婦人会会員 | | 定 員 | 30名 | |
| ね ら い | 婦人会と共催することにより、女性の関心が大きいテーマを取り上げ、暮らしに役立つ知識の習得を目指す。人権学習を含めて、人権意識の向上をはかる。 | | | | | | | |
| 協力機関 及び団体 | 共催：粕壁婦人会 | | 特 色 位置づけ | 人権教育研修会を含む | | | | |
| 会 場 | 中央公民館 大会議室 | | 教 材 資 料 等 | 講師作成資料 | | | SDGsの 目標No | 4. 10. 11 |
| 実施までの 経 過 | 3月2日（木）婦人会打合せ 3月中旬 講師折衝 3月下旬 講師依頼 4月1日（土）公民館だより4月号掲載 | | P R 方法 | 公民館だより4月号掲載・チラシ配布 | | | | |
| | | | 受付方法 | 電話または直接申し込み | | | | |
| 月 日（曜） | 時 間 | 内 容 | 方法 | 参加者 | | | 講師・助言者の職名 | |
| 回 数 | 総時間数 | | | 男 合計 | 女 合計 | 合計 | 氏 名 | |
| 6月9日（金） | 10：00～12：00 | 1部 オカリナミニコンサート 2部 中央公寄席 | 講演 | 10 | 79 | 89 | 1部 オカリナミニコンサート 藤田 佳代子 野田 明子 2部 中央公寄席 還暦亭生一本 | |
| 6月16日（金） | 10：00～12：00 | 「おなか元気教室」 | 講演 | 0 | 22 | 22 | 埼玉東部ヤクルト販売（株） | |
| 6月23日（金） | 10：00～12：00 | 1部 人権について学ぼう 2部 楽しく体を動かして 免疫力をアップしよう | 講習 | 2 | 15 | 17 | 1部 人権について学ぼう 社会教育課 職員 2部 健康体操 岩崎 サト子 （健康運動指導員） | |
| 3回 | 6時間 | | | 12 | 116 | 128 | | |
| 企画運営上 の工夫 | 粕壁地区の婦人会との共催事業として、参加者の要求に基づいた学習テーマで実施できるよう、会議を実施し共同で内容の企画に取り組んだ。楽器演奏や寄席の鑑賞や、健康増進など関心の高い内容を取り入れた。 | | | | | |  | |
| 成 果 参加者の 声など | 「睡眠」と「健康」の知恵袋講座 ・枕や寝具の選び方大変参考になりました。 備えあれば憂い無し！相続問題あれこれ ・普段知りえない相続の基本、手続きの流れ、良くわかりました。 楽しく体を動かして免疫力をアップしよう ・楽しく体操でき、体を動かして良い体験でした。 人権について学ぼう ・講師の方が紹介してくれた詩が私も日々同じような考えで生活しています。 | | | | | |  | |
| 課題と展望 | 体を動かす講座は興味・関心が高く、今後も体操やストレッチの講座を企画したい。次年度は、粕壁婦人会活動の縮小（組織解散）を受け、代替事業の実施等を検討する。併せて、粕壁婦人会 旧構成員との連携を解消することなく維持・増進できるよう努める。 | | | | | |   | |

| | | | | | | | | |
|--------------|--|--|------------|----------------------|----|---------------|---|--|
| 事業名 テーマ | 「社会を明るくする運動」研修会 | | 対象 | 一般 | | 定員 | 50名 | |
| ねらい | 更生保護女性会の事業を共催で行い、それぞれの立場において力を合わせ、犯罪のない明るい社会を築くための地区内の安全な生活を推進する。 | | | | | | | |
| 協力機関 及び団体 | 共催：春日部地区更生保護女性会 粕壁地区 | | 特色 位置づけ | 社会を明るくする運動の強調月間に実施 | | SDGs の目標No | 4・11 | |
| 会場 | 中央公民館 大会議室 | | 教材 資料等 | DVD映像 「夕焼け」 | | | | |
| 実施までの経過 | 5月11日(木) 団体と打ち合わせ 5月下旬 案内状作成 6月初旬 案内状配布 7月6日(木) 事業実施 | | PR方法 | 地区内各種団体（PTA等）へ開催案内配布 | | | | |
| | | | 受付方法 | 当日受付 | | | | |
| 月日（曜） | 時間 | | 方法 | 参加者 | | | 講師・助言者の職名 氏 名 | |
| 回数 | 総時間数 | | | 男 | 女 | 合計 | | |
| | | | | 合計 | 合計 | 合計 | | |
| 7月6日(木) | 13：30～15：30 | DVD上映 「夕焼け」 DVD鑑賞後、グループごとに鑑賞内容や子育て支援活動について意見交換し発表する。 | 協議 | 4 | 24 | 28 |  | |
| 1回 | 2時間 | | | 4 | 24 | 28 | | |
| 企画運営上の工夫 | 地元の更生保護女性会との共催事業として、共同で企画に取り組むことにより、学習者の要求に基づいたテーマで実施する。地域の犯罪・非行の防止活動を推進し、明るい社会をつくる目的に沿う内容のビデオをより多くの方に見ていただくこととする。そのため、案内を地区内のPTA、地区民協、春日部地区保護司会にも案内を配布した。 | | | | | | | |
| 成果参加者の声など | ・相談できる環境作りが大切。・家で親に話を聞いてもらえない子が多く、相談できる場所がある事を子供たちに知ってもらい、参加してもらいたい。・信用できる大人でないと、自分の事を話してくれないし、その関係を築くには時間がかかる。継続して付き合いが出来る場所の確保が必要。・地域住民の様子も分からない世の中になっていて、子供たちの問題把握が難しい。・学校と家庭の間に入る専門家が多くいると良い。各機関の連携が必要。親も子も自分から言わない事が多い。初めに異変に気付き声をかける人がいれば、解決方法が見つけやすい。 | | | | | | | |
| 課題と展望 | ・今後も春日部地区更生保護女性会粕壁地区の方たちと協力し、より良好な事業を企画していきたい。 ・各校PTAの参加者が少なかった為、案内の配布先や日程について、次年度以降検討していきたい。 | | | | | | | |

| | | | | | | |
|---|---|--|------------|--|-------------------|----------------------|
| 事業名 テーマ | 子ども体験教室 「プラネタリウムにいこう！」 | | 対象 | 小学生とその 保護者 | 定員 | 24名 |
| ねらい | 体験学習を通して、伝統文化・芸術・環境・科学等への関心を深める機会を提供する。（中央公民館等利用サークルに講師を依頼できる場合は、サークル活動を通じて学んだことを地域に還元する機会とする。） | | | | | |
| 協力機関 及び団体 | | | 特色 位置づけ | 中央公民館「科学館 巡回展」関連事業 | SDGs の目 標No | 4.11 |
| 会場 | つくばエキスポセンター | | 教材 資料等 | 施設パンフレット | | |
| 実施ま での経過 | 5月 6月1日 | 会場予約 公民館だより6月号 チラシ配布 下見 実施 | P R 方法 | 公民館だより「桐のまち」6月号 チラシ配布（八木崎小・粕壁 小・緑小・上沖小） | | |
| | 6月14日 8月4日 | | 受付方法 | 6/9（金）～7/14（金）までに直 接または電話で中央公民館へ申 込み 参加費大人850円、子ども450円 は当日回収 | | |
| 月日（曜） | 時 間 | 内 容 | 方法 | 参加者 | | 講師・助言者の職名 氏 名 |
| 回 数 | 総時間数 | | | 男 | 女 | |
| 8月4日（金） | 8：30～15：30 | プラネタリウム見学、 施設展示体験 | 見学 | 合計 | 合計 | 合計 |
|  |  | | | 11 | 14 | 25 |
| 1回 | 7時間 | | | 11 | 14 | 25 |
| 企画運営 上の工夫 | ・中央公民館『科学館巡回展「宇宙をさわる」』に関連して、宇宙への理解を より深めるためプラネタリウムを見学する。 ・つくばエキスポセンター内の様々な展示を体験し、科学への関心を深める。 ・館内休憩室を予約し、昼食場所として提供する。 ・プラネタリウムは団体で入場し、その他の館内は自由行動とする。 | | | | | |
| 成 果 参加者の 声など | 【子ども】「いろんな星の場所が知れて楽しかったです。たくさんの星がある んだなと思いました。」「プラネタリウムが星ぞらいっぱいきれいだった。」 【保護者】「日常ではあまり触れることができない科学の世界を、楽しく見なが ら学べて良かったです。」「自分たちだけではなかなか行けない場所に行く ことができ、親子ともども楽しめました。」 | | | | | |
| 課題と展望 | 令和5年7月25日～30日に同館で行われた『科学館巡回展「宇宙をさわる」』に関連し、より宇宙への理解を深めるため、つくばエキスポセンター プラネタリウムを見学し、10組の親子が参加した。市内では経験できない体験 を親子で共有でき、今後も夏休み中の事業の選択肢の一つとして検討したい。 今回は移動に時間がかかり、現地滞在時間が短くなってしまったので、場合によ っては高速道路を使用するか、または、移動距離の短い施設を選択するなど 工夫したい。また同時に、夏休みにふさわしい実験や制作なども企画してい きたい。 | | | | | |

| | | | | | | | |
|-------------------|---|---|-----------|---|---------------|-----------|--|
| 事業名 テーマ | 令和5年度 第69回粕壁地区体育祭 | | 対象 | 地区住民 | | 定員 | なし |
| ねらい | 「スポーツの日」を中心に、各地で体育祭を開催し、市民のスポーツ・レクリエーション活動への意識の高揚を図る。・地域の実情を踏まえ、誰でも気軽に参加できる内容を工夫し、地域住民の健康増進と健全な地域の発展を図る。 | | | | | | |
| 協力機関 及び団体 | 粕壁地区自治会連合会・粕壁南公民館 (共催) 粕壁地区体育祭実行委員会 (主管) | | 特色 | | SDGsの 目標No | 4・11 | |
| 会場 | 春日部中学校 校庭 | | 教材 資料等 | プログラム・競技台本 | | | |
| 実施までの経過 | 6月11日(日) 関係者打ち合わせ 7月 2日(日) 代表者会議 7月28日(金) 責任者会議 8月 1日(火) 公民館だより(8月号)発行 9月 1日(金) プログラム全戸配布 9月 3日(日) 実行委員会 10月7日(土) 前日準備 10月8日(日) 体育祭当日 10月14日(土) 反省会 | | PR 方法 | 公民館だより (8月号) 掲載 プログラムの地区内全戸配布 (9/1) | | | |
| | | | 受付 方法 | 地区対抗種目・団体対抗種目については事前に各地区・団体で取りまとめる。自由参加種目については、当日の受付。 | | | |
| 月日 (曜) | 時 間 | 内 容 | 方法 | 参加者 | | 講師・助言者の職名 | |
| 回 数 | 総時間数 | | | 男 | 女 | 合計 | 氏 名 |
| | | | | 合計 | 合計 | | |
| 10月8日(日) | 9:00~15:30 | 9:00 開会式 9:30 競技 15:00 開会式 15:30 終了 | 競技 | 1114 | 1114 | 2228 |  |
| 1回 | 6時間30分 |  | | | | | |
| 企画 運営上の 工夫 | 大会運営を円滑に行うために、競技役員等にスポーツ推進委員や粕壁婦人会及びいきいきクラブ連合会を事務局選出による役員として依頼する。地区対抗種目については、競技種目解説書及び競技受付用紙を作成して事前に配付することにより、より円滑に競技が進められるようにする。 | | | | | | |
| 成果 参加者の 声など | 5年ぶりの地区体育祭であったが、プログラムも時間どおりに進行し、無事終了することができた。また、多くの人々が自由参加種目など、競技に積極的に参加いただけた。来年度も継続して地区体育祭を開催したいとの多くの意見があった。 | | |  | | | |
| 課題と展望 | ・23自治会中18自治会の参加であったため、参加に至らなかった5自治会については、連合などほかの地区と合同での参加できるようにしていきたい。 ・地区対抗種目の競技については、年齢制限を設けているため、それに合う参加者が見つからなく棄権の地区が多数あったので、見直す必要がある。 ・用具の不足が生じたものは、可能なものについては次年度に用意できるようにしたい。 | | | | | | |

| | | | | | | | |
|-------------------------------|---|---|--|---|---------------|---|--|
| 事業名 テーマ | 第48回 粕壁地区壮年ソフトボール大会 | | 対 象 | 45歳以上 | 定員 | なし | |
| ね ら い | 壮年の健康増進と親睦を深めることをめざす。 | | | | | | |
| 協力機関 及び団体 | 共催：粕壁南公民館 主管：JMソフトボールクラブ | | 特 色 | 日曜日開催 壮年（満45歳以上 男女）対象 | SDGsの 目標No | 4・11 | |
| 会 場 | 大沼運動公園野球場、大沼中学校校庭（1面） | | 教 材 資料等 | 代表者会議資料、プログラム | | | |
| 実施までの経過 | 9月13日（水） 主管団体と打合せ 10月1日（日） 公民館だより10月号発行 R元年度・4年度参加 チームへ案内発送 | | PR方法 | 公民館だより10月号 前年度、R元年度参加チームあて 案内 | | | |
| | 10月17日（火）申込締切 10月19日（木）事前打合せ 10月21日（土）代表者会議 会長印借用 10月26日（木）大沼中学校へ 校庭借用の依頼 | | 受付方法 | 中央公民館で、FAXまたは直接の申込みを受け付ける。 代表者会議までに参加費を預かり、預り証を渡す。 | | | |
| 月日（曜） | 時 間 | 内 容 | 方法 | 参加者 | | 講師・助言者の職名 氏 名 | |
| 回 数 | 総時間数 | | | 男 | 女 | | 合計 |
| 11月5日（日） | 8:00～14:00 | トーナメント 3会場で計8試合 上位4チームによる トーナメント 1会場で計3試合 | 競技 | 227 | | 227 | 優勝:大池南スターズ 準優勝:内谷クラブ 第3位:びいぷる 第3位:粕壁ライナーズ |
| 11月12日（日） | 8:00～14:00 | | | 90 | | 90 | |
| 予備日 11月19日（日） 11月26日（日） |  |  |  | | |  | |
| 2回 | 12時間 | | | 317 | 0 | 317 | |
| 企画 運営上の工夫 | ・参加チームの募集にあたって、公民館だよりへの募集記事の掲載の他、前年度・R元年度参加チームへ案内をするとともに、関係者へ開催の周知を依頼した。 ・今年度より他のチームとの混合チームも可とした。 ・申込期限を代表者会議の4日前に設定し、会議当日までにチーム数を確定した。 ・試合をスムーズに進行させるため、大沼中学校校庭(2面)を借用して、合計3面で実施した。 | | | | | | |
| 成果 参加者の声など | ・試合を通じて、地区間や同世代間での親睦が深められた。 ・天候に恵まれ、2日間で全試合を終了することができた。 ・会場(グラウンド面)用具については、主管団体が所有する用具を借用できたことで、準備を的確かつ円滑に行うことができた。 | | | | | | |
| 課題と展望 | ・今後も効率良く試合が進行できるように、大沼中学校校庭は引き続き借用依頼する必要がある。 ・前年度はコロナ禍もあり参加チームが減少したが、今年度は前回よりも3チーム多い12チーム参加があり、コロナ前と相違ない参加となった。 | | | | | | |

| | | | | | | | |
|--------------------|--|------------|------------------------------|-------------------|--------|-----------------|------------------|
| 事業名 テーマ | ジュニア囲碁スクール | 対象 | 小学生 | 定員 | 15名 | | |
| ねらい | 囲碁を通じ子どもの人格形成、年代を超えたコミュニケーションを目的とする。 | | | | | | |
| 協力機関 及び団体 | 春日部ジュニア囲碁普及会（7人） | 特色 位置づけ | 下記、企画運営 上の工夫を参照 | SDGs の目 標No | 4・11 | | |
| 会場 | 粕壁南公民館 2階 会議室 | 教材 資料等 | ジュニア囲碁スクールテキスト | | | | |
| 実施ま での経 過 | 12月中旬 講師打診、開場確保 1月20日（土）講師依頼通知 2月 1日（木）公民館だより2月号発行 2月17日（土）参加申込み受付開始 | PR方法 | 公民館だより2月、4月号掲載 | | | | |
| | | 受付方法 | 申込書に必要事項を記入し、直接 公民館窓口へ申込み | | | | |
| 月日（曜） | 時 間 | 内 容 | 方法 | 参加者 | | | 講師・助言者の職名 氏 名 |
| 回 数 | 総時間数 | | | 男 計 | 女 計 | 合計 | |
| 4月15日（土） | 10:30～12:00 | 開講式 囲碁の基礎 | 実技 | 5 | 3 | 8 | 春日部ジュニア囲碁普及会 5人 |
| 5月20日（土） | 10:30～12:00 | | | 5 | 5 | 10 | 春日部ジュニア囲碁普及会 7人 |
| 6月17日（土） | 10:30～12:00 | 5 | | 3 | 8 | 春日部ジュニア囲碁普及会 6人 | |
| 7月15日（土） | 10:30～12:00 | 5 | | 1 | 6 | 春日部ジュニア囲碁普及会 6人 | |
| 8月19日（土） | 10:30～12:00 | 2 | | 3 | 5 | 春日部ジュニア囲碁普及会 5人 | |
| 9月16日（土） | 10:30～12:00 | 3 | | 2 | 5 | 春日部ジュニア囲碁普及会 6人 | |
| 10月21日（土） | 10:30～12:00 | 2 | | 3 | 5 | 春日部ジュニア囲碁普及会 5人 | |
| 11月18日（土） | 10:30～12:00 | 3 | | 1 | 4 | 春日部ジュニア囲碁普及会 4人 | |
| 12月16日（土） | 10:30～12:00 | 2 | | 2 | 4 | 春日部ジュニア囲碁普及会 4人 | |
| 1月20日（土） | 10:30～12:00 | 4 | | 0 | 4 | 春日部ジュニア囲碁普及会 4人 | |
| 2月17日（土） | 10:30～12:00 | 2 | | 2 | 4 | 春日部ジュニア囲碁普及会 4人 | |
| 3月16日（土） | 10:30～12:00 | 3 | | 3 | 6 | 春日部ジュニア囲碁普及会 4人 | |
| 12回 | 18時間 | | | 41 | 28 | 69 | 指導員延べ人数 60人 |
| 企画運営 上の工夫 | 囲碁を通じて子どもの人格形成と年代を超えたコミュニケーションをより深める。 市内でジュニア囲碁教室を開催している春日部ジュニア囲碁普及会へ協力依頼し、事 業内容の充実に努める。公民館だより、SNSなどで市民に周知し参加者を募る。 | | | | | | |
| 成果 参加者の 声 など | 継続して参加し、囲碁が上達している参加者もいる。また、世代をこえたコミュニケー ションの手段として有効であった。 | | | | | | |
| 課題と展望 | 下半期は参加者が減少した。より有効な周知方法を検討する必要がある。 | | | | | | |

粕壁地区 1

| | | | | | | | | | |
|--------------------------|--|-----------------------|--------------|--------------------------|-------|------------------|------------------|--------|--------------|
| 事業名 テーマ | サークル体験月間 | | 対 象 | 一般 | 定員 | それぞれの サークルによる | | | |
| ね ら い | 粕壁南公民館のサークル活動の促進と利用の活性化を目指す | | | | | | | | |
| 協力機関 及び団体 | 事業に参加希望のサークル | | 特 色 位置づけ | サークルとの連携 | | SDGsの 目標No | 4・11 | | |
| 会 場 | 粕壁南公民館 | | 教 材 資 料 等 | 教材はサークルで準備 | | | | | |
| 実施ま での 経 過 | 4月 1日(土)公民館だよりで告知 周知・サークル受付開始 5月16日(火)サークル受付終了 6月 1日(木)公民館だより6月号に 参加サークル一覧を掲載 | | PR方法 | 公民館だより4月・6月号 ポスター・チラシ | | | | | |
| | | | 受付方法 | 直接サークル活動の会場へ | | | | | |
| 月日(曜) | 時 間 | 内 容 | 方法 | 参加者 | | | 講師・助言者の職名 氏 名 | | |
| 回 数 | 総時間数 | | | 男 | 女 | 合計 | | | |
| | | | | 計 | 計 | | | | |
| サークル体験報告書(6/6～7/9 粕壁南公分) | | | | | | | | | |
| サークル名 | | 活動内容 | 活動公開日 | 活動公開日 | 活動公開日 | 活動公開日 | 活動公開日 | のべ体験者数 | うち入会(入会予定)人数 |
| フルートアンサンブル ラ・フェニーチェ | | フルート | 6/10 | 6/24 | 7/8 | | | 4 | 2 |
| コール・ライム | | 女声コーラス | 6/9 | | | | | 0 | 0 |
| ヴォイス | | コーラス | 6/13 | | | | | 0 | 0 |
| ふれあい大学校友会 民謡クラブ | | 全国の民謡 | 6/14 | 6/28 | | | | 0 | 0 |
| コーロ・イリス | | コーラス | 6/8 | 6/22 | 6/29 | | | 1 | 0 |
| 筆ペン喜楽会 | | ペン字・基礎から師範迄、 実用書あり | 6/7 | 6/28 | 7/5 | | | 0 | 0 |
| 歩 | | 硬筆・ボールペン、筆ペンほか | 6/13 | 6/27 | | | | 2 | 1 |
| 太極拳教室柳拳会 | | 太極拳 | 6/9 | 6/16 | 6/23 | | | 7 | 4 |
| 土曜英会話クラブ | | 中学生レベルでの英会話 | 6/17 | 7/8 | | | | 7 | 1 |
| ヨーガひまわり | | ヨガ | 6/10 | 6/17 | 6/24 | 7/8 | | 5 | 2 |
| 自彊術コスモス | | 健康体操 | 6/6 | 6/13 | 6/20 | 6/27 | 7/4 | 9 | 3 |
| 自彊術たんぽぽ | | 健康な体作りのための 予防・治療体操 | 6/9 | 6/16 | 6/23 | 6/30 | 7/7 | 2 | 0 |
| 混声合唱団コーロ・ナッセル | | 混声合唱 | 7/1 | 7/8 | | | | 2 | 2 |
| よつ葉のクローバー | | オカリナ | 6/16 | 7/7 | | | | 2 | 1 |
| 気功太極金曜クラブ | | 気功・太極拳 | 6/9 | 6/23 | 7/7 | | | 6 | 2 |
| ふじコーラス | | コーラス | 6/16 | 6/23 | 7/7 | | | 3 | 2 |
| コーラスサークル 「カナリア」 | | 唱歌・歌謡曲・簡単な合唱 | 7/2 | | | | | 0 | 0 |
| 内容歌声クラブ 「ひまわり」 | | 唱歌・歌謡曲・簡単な合唱 | 6/28 | 7/5 | | | | 10 | 2 |
| はじめのいっぽ | | コーラス | 6/25 | | | | | 1 | 0 |
| 合計 61人 | | | | | | | | | |
| 企画運営上 の 工 夫 | ・窓口付近に「本日のサークル体験」の団体名と時間、場所の看板を設置した ・ロビーにサークル体験参加団体と実施の日時を掲示して、利用者に事業のPRをした | | | | | | | | |
| 成 果 参 加 者 の 声 な ど | ・「コロナが落ち着き、何か始めたい」という市民が増えてきていて、その方々にはよいきっかけとなる事業であった ・参加団体19団体で61人の体験者がいた。そのうち22人が入会するなど一定の成果があった ・サークルからは「久しぶりに会員が増えてよかった」などの声があった | | | | | | | | |
| 課題と展望 | ・サークルや部屋の定員も考慮し、予約制にするなどの工夫が必要である ・各種団体の活動を活性化するための支援として、今後も続けるべきと考える | | | | | | | | |

粕壁地区 11


| | | | | | | | |
|--------------|--|---|--|--|-------------------|------|--|
| 事業名 テーマ | 粕南フェス2023 | | 対象 | 公民館利用者及び一般 | 定員 | 定めず | |
| ねらい | 粕壁南公民館(春日部コミュニティセンター)を利用する各団体の学習成果発表の場を提供し、生涯学習活動のより一層の充実を図ることを目的とし、併せて、利用者団体間の交流と一般市民への文化活動の普及を図る。 | | | | | | |
| 協力機関 及び団体 | 粕南フェス2023実行委員会 コミセン茶屋企画運営委員 粕壁地区生涯学習市民推進員 春日部市食生活改善推進員協議会粕壁地区 | | 特色 位置づけ | 重点事業 | SDGs の目 標No | 4・11 | |
| 会場 | 粕壁南公民館(春日部コミュニティセンター) | | 教材 資料等 | プログラム等 | | | |
| 実施までの経過 | 5月中 募集要項・参加申込書作成 6月1日(木) 公民館だより発行・昨年度参加団体あて参加申込書 配布開始 6月1日(木)～30日(金) 参加申込受付 7月22日(土) 第1回実行委員会 9月2日(土) 第2回実行委員会 9月上旬 ポスター・プログラム作成 10月1日(日) 公民館だより10月号発行 10月中 各館へポスター配布依頼・ステージリハーサル 10月27日(金) 前日準備 | | PR方法 | 公民館だより6月号募集記事掲載 公民館だより10月号開催記事掲載 安心安全メール・ツイッター配信 | | | |
| | | | 受付方法 | 参加団体は6月1日(木)から30日(金)までに参加申込書を提出 当日の一般来場は観覧自由 | | | |
| 月日(曜) | 時間 | 内 容 | 方法 | 参加者 | | | 講師・助言者の職名 氏 名 |
| 回数 | 総時間数 | | | 男 計 | 女 計 | 合計 | |
| 10月28日(土) | 10:00～16:00 | 開会式 ステージ・展示・体験部門 発表(11団体) 軽食販売・健康チェック (3団体) |  | 153 | 331 | 484 | 出演団体 春日部市食生活改善推進員協議会粕壁地区 第1・第5地域包括 支援センター 明治安田生命保険相互会社 |
| 10月29日(日) | 10:00～12:00 | ステージ・展示・体験部門 発表(5団体) |  | 33 | 93 | 126 | 出演団体 |
| 2回 | 8時間 | | | 186 | 424 | 610 | |
| 企画運営上の工夫 | ・実行委員会形式の運営方法を取り、参加団体の自らの手で作り上げる事業とした ・地域包括支援センターや明治安田生命の協力により、健康チェックコーナーを設けた。また、当館利用団体の食生活改善推進員協議会に依頼し、コロナ禍で中止していた軽食販売コーナーを設けた。 ・当日会場で配布している参加団体紹介チラシを事前に100枚団体に配布し、広報に協力してもらった。 | | | | | | |
| 成果参加者の声など | ・各団体に積極的に広報を行ってもらった結果、昨年度より来場者数は増となった。 ・軽食販売については販売終了時間を待つことなく完売となった。 ・来場者アンケートでも楽しかったという声が多かった。 | | | | | | |
| 課題と展望 | ・駐車場の管理につき、出演団体と来場者との割り振りがうまくいかず、若干のトラブルがあった。管理係を現場に配置する必要がある。 ・特にステージ部門については初日と2日目で出演団体数に差があるので、開催時間もいびつになった。開催期間につき要検討とする。 | | | | | | |

| | | | | | | | | |
|---|---|---|------------|---|--------|-------------------|------------------|--|
| 事業名 テーマ | 幼児家庭教育学級 | | 対象 | 未就学児とその保護者 | | 定員 | 8～20組 | |
| ねらい | 人間形成において最も重要な時期である幼児期の発育について、保護者が正しく理解し適切な育児を行っていくための学習機会とする。もって幼児期における家庭教育の充実を図る。 | | | | | | | |
| 協力機関 及び団体 | 協力 各講師の所属する団体 | | 特色 位置づけ | 年間を通した事業 | | SDGs の目標 No | 4・11 | |
| 会場 | 粕壁南公民館・春日部コミュニティセンター コミュニティホール、調理室、和室 | | 教材 資料等 | 教材は、講師・スタッフが準備 | | | | |
| 実施までの経過 | 4ヶ月前 事業内容決定、講師選定、承諾、会場確保 3ヶ月前 講師依頼文発送 月初め 公民館だより発行、子育て情報メール等配信 1ヶ月前 参加申込み受付開始 | | PR方法 | 公民館だより4、6、8、10月号掲載 子育て情報メール配信 公民館にポスター掲示 | | | | |
| | | | 受付方法 | 公民館窓口 に直接または、電話で申込む | | | | |
| 月日(曜) | 時 間 | 内 容 | 方法 | 参加者 | | | 講師・助言者の職名 氏 名 | |
| 回数 | 総時間数 | | | 男 計 | 女 計 | 合計 | | |
| 5月13日(土) | 10:30～11:30 | ①親子でリトミック&コンサート | 実技 | 20 | 21 | 41 | 早乙女 弘枝 ほか4名 | |
| 7月26日(水) | 10:30～11:30 | ②キッズダンス | 実技 | 5 | 27 | 32 | 須賀 里美 | |
| 9月 7日(木) | 10:30～12:00 | ③幼児AED | 実技 | 3 | 11 | 14 | 消防本部 | |
| 11月11日(土) | 10:30～12:00 | ④親子クッキング | 実技 | 5 | 11 | 16 | 食改粕壁地区 2名 | |
|  | |  | |  | | | | |
| 4回 | 5時間 | | | 33 | 70 | 103 | | |
| 企画運営上の工夫 | ・家族みんなで参加できるように土曜日の開催を多く設定する ・事業の内容は、親子で触れ合えるように一緒に運動したり作ったりすることのできるものとする ・安心・安全情報メールを活用し多くの参加者を募る ・「粕南すくすくひろば」と連携する | | | | | | | |
| 成果参加者の声など | 参加者からは「子どもが喜んだ顔で夢中になっている姿を見られてうれしかった」「歳が違うお子さんとも一緒に活動ができてよい経験になった」「子どもには少し難しいと思っていたことも簡単にできて楽しめた」などの声をいただき好評であった。笑顔いっぱいの和やかな雰囲気の中、親同士また親子での触れ合いが多く見られた。 | | | | | | | |
| 課題と展望 | 事業の参加をきっかけに同じ年代の子をもつ親同士の交流の場や親子のふれいあいの場となるため、親子で一緒に楽しめるものを企画して、有意義で貴重な時間となるような工夫を計っていく。 | | | | | | | |

| | | | | | | | |
|---------------|--|--|---|-------------------|--------|----|-------------------|
| 事業名 テーマ | 利用団体代表者会議 | 対象 | 各団体の代表者 | 定員 | なし | | |
| ねらい | 公民館利用団体及び今後利用を予定している団体を対象に施設の利用方法についての説明を行う。また部屋の利用方法について、利用者の意見を聴取する。併せて、人権DVDを視聴し、人権への意識を深める。 | | | | | | |
| 協力機関 及び団体 | 公民館利用団体 | 特色 位置づけ | 下記、企画運営 上の工夫 参照 | SDGs の目 標No | 4 | | |
| 会場 | 粕壁南公民館 (春日部コミュニティセンター) 1階 コミュニティホール | 教材 資料等 | 公民館・春日部コミュニティセンター の利用についての会議資料 | | | | |
| 実施までの経過 | 11月下旬 利用団体通知準備 12月1日 公民館だよりで告知 12月中旬～1月上旬 会議開催通知配布 2月10日 事業実施 | PR方法 | ・公民館だより12月号へ掲載 ・各団体代表者あてに会議開催通知を直接配布 | | | | |
| | | 受付方法 | 当日、直接参加 | | | | |
| 月日(曜) | 時間 | 内 容 | 方法 | 参加者 | | | 講師・助言者の職名 氏 名 |
| 回数 | 総時間数 | | | 男 計 | 女 計 | 合計 | |
| 2月10日(土) | 10:00～10:45 | 代表者会議 公民館の利用方法について協議 10:50～15:20 (人権DVD視聴) | 訓練 | 13 | 21 | 34 | 公民館職員3 施設利用者34 |
| | | | | | | | |
| 1回 | 1時間20分 | | | 13 | 21 | 34 | |
| 企画運営上の工夫 | (1)利用にあたっての当館固有の注意点等を説明し、適切な利用を促す資料を作成する。 (2)音楽室について、より多くの方に利用してもらうため時間制限を設けることについて、利用者の意見を聴取する機会として活用した。 (3)利用者が集まる機会を活用し、人権について学習を行った。 | | | | | | |
| 成果 参加者の声など | 施設の使用方法について、周知をすることができた。音楽室の利用方法について、利用者の意見を聴取したが、音楽室以外の利用者も多く、あまり意見を聴取できなかった。人権講習は会議に出席した34人が全員参加していただき、人権に対する意識を深めることができた。 | | | | | | |
| 課題と展望 | 利用団体代表者会議・人権教育研修の2点セットでの事業を計画し、準備を進めた。次年度においても、2点セットでの実施を計画したい。 | | | | | | |

| | | | | | | | |
|---------------|--|-------------------|------------|----------------------------|--------|----------------|---------------------|
| 事業名 テーマ | 「コミセン茶屋」 | | 対象 | 一般 | | 定員 | 10名～30名 |
| ねらい | 毎回1つのテーマを決め、気軽な雰囲気の中で、講師による講義及び参加者相互の意見交換等を通して、暮らしに役立つ知識・技術を身につける機会として実施する。また、中高年者の居場所づくり事業としても位置付け、楽しく、活気ある内容を目指す。 | | | | | | |
| 協力機関 及び団体 | 協力:各講師の所属する団体 粕壁地区生涯学習市民推進員 コミセン茶屋企画運営委員 | | 特色 位置づけ | 各種団体との連携 | | SDGs の目標No. | 4・11 |
| 会場 | 春日部コミュニティセンター1階 コミュニティホール ※8/3は会議室 | | 教材 資料等 | 教材は、講師・スタッフで準備 | | | |
| 実施までの経過 | 5/25(木) 第1回スタッフ会議 6/29(木) 第2回スタッフ会議 7/27(木) 第3回スタッフ会議 8/31(木) 第4回スタッフ会議 9/28(木) 第5回スタッフ会議 10/26(木) 第6回スタッフ会議 11/30(木) 第7回スタッフ会議 12/21(木) 第8回スタッフ会議 1/25(木) 第9回スタッフ会議 2/29(木) 第10回スタッフ会議 3/28(木) 第11回スタッフ会議 | | PR方法 | 公民館だよりに掲載 ポスター掲示及びチラシ配布 | | | |
| | | | 受付方法 | 公民館へ直接、または電話 | | | |
| 月日(曜) | 時間 | 内 容 | 方法 | 参加者 | | | 講師・助言者の職名 氏 名 |
| 回数 | 総時間数 | | | 男 計 | 女 計 | 合計 | |
| 6月 1日(木) | 14:00～16:00 | 一緒に歌おう | 実習 | 4 | 29 | 33 | 早乙女 弘枝 氏 |
| 7月 6日(木) | 14:00～16:00 | 今だから聞きたい”節電の話” | 実習 | 5 | 9 | 14 | 一條 美智子 氏 |
| 8月 3日(木) | 14:00～16:00 | 一緒にパソコンを使ってみましょう! | 実習 | 4 | 3 | 7 | 市川 実 氏 |
| 9月 7日(木) | 14:00～16:00 | 転倒予防と免疫アップ太極拳 | 実習 | 3 | 3 | 6 | 藤田 葆雄 氏 |
| 10月19日(木) | 14:00～16:00 | 体力測定会 | 講義 | 0 | 9 | 9 | 高齢者支援課 |
| 11月2日(木) | 14:00～16:00 | ニュースポーツを体験してみよう | 実習 | 2 | 9 | 11 | カーレット春日部 スポーツ推進課 |
| 12月7日(木) | 14:00～16:00 | 布でフクロウづくり | 実習 | 0 | 14 | 14 | 渡辺 わか江 |
| 1月 11日(木) | 14:30～15:30 | 粕南防犯講演会 | 実習 | 1 | 15 | 16 | 埼玉県警ひまわり |
| 2月 1日(木) | 14:00～16:00 | スマホの使い方 | 講義 | 4 | 10 | 14 | ドコモショップ春日部店 |
| 3月 7日(木) | 14:00～16:00 | 俳句を楽しもう | 実習 | 4 | 7 | 11 | 東鳳会 |
| 10回 | 19時間 | | | 27 | 108 | 135 | |
| 企画運営上の工夫 | ・地域の中高年者が楽しく、活気ある時間を過ごせる「コミセン茶屋」を月1回定期的に開催し、生活に密着した講座として定着させる工夫をした ・人気のあるテーマについては、継続的に実施をした ・粕壁地区生涯学習市民推進員や有志スタッフによる企画内容を反映させた ・講師派遣について、人気があるが無料の事業を開催した。 | | | | | | |
| 成果 参加者の声など | ・歌、運動、工作、健康、ゲーム、生活に役立つ講演など参加者の関心の高い又は楽しめる多種多様な内容の講座を年間10回開催できた ・参加者のアンケート結果では、各回ほとんどの方が満足、ほぼ満足と回答 | | | | | | |
| 課題と展望 | ・粕壁地区生涯学習市民推進員と有志ボランティアによる企画と運営を目指す | | | | | | |

粕壁地区 15

| | | | | | | | | |
|---------------------|--|---|--------------|---|--------|-------------------|--|--|
| 事業名 テーマ | 夏休み企画「学習体験4Days」 | | 対 象 | 小学生 | | 定員 | 8/23～25: 50名 8/26:20名 | |
| ね ら い | 公民館に足を運び、親しみを持ってもらことを目的に、夏休み期間中に数日間(連続で4日間程度)コミュニティホールを小学生向けに自習スペースとして開放する。また、その期間を利用して、簡単な体験学習プログラムを企画し、公民館での学びと交流を体験してもらう。 | | | | | | | |
| 協力機関 及び団体 | ・わくわく科学クラブ ・春日部市二十歳を祝う会実行委員 | | 特 色 位置づけ | 下記、企画運営 上の工夫 参照 | | SDGs の目 標No | 4・11 | |
| 会 場 | 粕壁南公民館(春日部コミュニティセン ター)1階 コミュニティホール | | 教 材 資 料 等 | ・参加者の自習教材 ・科学教室の実験材料 | | | | |
| 実施まで の 経 過 | 4月中 事業計画決定・共栄大学協 力者折衝 5月中 科学講座講師折衝 6月1日(木) 公民館だより6月号配布 7月中旬 情報メール等配信・各校へチ ラシ配布 7月22日(土) 科学講座申込開始 8月23日(水) 事業実施 | | PR方法 | ・公民館だより6月号掲載 ・7月上旬に粕壁小・上沖小・緑小・八 木崎小にお知らせチラシ配布依頼 ・7月に春日部メール配信 | | | | |
| | | | 受付方法 | 7/22(土)から電話又は窓口にて受 付。先着順。申込人数により当日受 付可 | | | | |
| 月日(曜) | 時 間 | 内 容 | 方法 | 参加者 | | | 講師・助言者の職名 氏 名 | |
| 回 数 | 総時間数 | | | 男 計 | 女 計 | 合計 | | |
| 8月23日(水) | 9:00～12:00 | 持参した教材を使用して の自主学習 科学教室「浮沈子を作ろう」 | | 2 | 2 | 4 | ・わくわく科学クラブ ・春日部市二十歳を 祝う会実行委員 | |
| 8月24日(木) | 9:00～12:00 | | | 1 | 3 | 4 | | |
| 8月25日(金) | 9:00～12:00 | | | 1 | 2 | 3 | | |
| 8月26日(土) | 9:30～11:00 | | | 4 | 6 | 10 | | |
| | |  | |  | | | | |
| 4回 | 10時間30分 | | | 8 | 13 | 21 | | |
| 企画運営上 の 工 夫 | ・9月からの学校生活へ向けて生活のリズムと日中の学習習慣を取り戻せるように、夏休 み後半の日程で午前中の開催とした。また、学習補助として大学生ボランティアに協力を 依頼した。 ・自習だけではなく、まとまった人数で学習課題へ取り組むことを目的に、夏休みの自 由研究を兼ねた科学教室を最終日に開催した。 ・社会教育課と連携し、「春日部市二十歳を祝う会」の実行委員に運営協力をお願いし た。 | | | | | | | |
| 成 果 参加者の 声 など | ・参加者からは自習の日については、「家より集中できた。(ボランティアと)お話ができ て楽しかった」、「とても家より勉強がしやすかった」科学教室については、「浮沈子がど ういうものかを、絵や実験して知れました」など充実した内容となった。 ・「春日部市二十歳を祝う会実行委員会」の委員が毎日数人ボランティアで参加してく れたことで、運営がスムーズに進んだ。 | | | | | | | |
| 課題と展望 | ・公民館だよりと春日部メールでは参加者数が伸びなかったため、小学校4校に開催チ ラシを配布したが、それでも伸び悩んだ。また、大学生ボランティアの募集を大学に依 頼したが、応募が無かった。 ・特に自習の日は3時間という長時間のため課題が終わってしまい飽きてしまう参加者 もいた。今後は各日に時間割を設けて、息抜きにレクの時間を設けるなど、内容に工夫 をする必要がある。 | | | | | | | |

| | | | | | | | | |
|---------------------|--|---|--------------|-------------------------------|---|-------------------|--------------------|--|
| 事業名 テーマ | ジュニア将棋道場 | | 対 象 | 小・中学生 | | 定員 | 10名 | |
| ね ら い | 将棋を通じ、参加者相互の交流と小中学生が公民館に親しみを持ってもらうことを目的に、月1回、自由な雰囲気の中で初心者から上級者まで将棋を楽しめる場の提供をする。また、初心者向けの講座も実施することで広く参加者を募り、利用者層の拡大を狙う。 | | | | | | | |
| 協力機関 及び団体 | 春日部市役所囲碁・将棋部 | | 特 色 位置づけ | 下記、企画運営 上の工夫 参照 | | SDGs の目 標No | 4・11 | |
| 会 場 | 粕壁南公民館会議室 | | 教 材 資 料 等 | 初級者向け講座資料 | | | | |
| 実施まで の 経 過 | 3月中 事業計画決定・講師折衝 4月1日(土) 公民館だより4月号発行 4月15日(土) 募集開始 5月19日(金) 募集終了 | | PR方法 | 公民館だより4月号 春日部メール | | | | |
| | | | 受付方法 | 4月15日(土)から電話又は窓口にて 受付。先着順。 | | | | |
| 月日(曜) | 時 間 | 内 容 | 方法 | 参加者 | | | 講師・助言者の職名 氏 名 | |
| 回 数 | 総時間数 | | | 男 | 女 | 合計 | | |
| | | | | 計 | 計 | | | |
| 5月20日(土) | 13:30～15:00 | ・時間内で参加者に自由 に対局させる。 ・初回は初心者向けに、 初級講座を開講する。 ・参加者が少ない場合は、 講師と対局する。 | 実技 講義 | 3 | 2 | 5 | 春日部市役所囲碁・ 将棋部部員 | |
| 6月17日(土) | 13:30～15:00 | | | 2 | 1 | 3 | | |
| 7月15日(土) | 13:30～15:00 | | | 4 | 2 | 6 | | |
| 8月19日(土) | 13:30～15:00 | | | 3 | 1 | 4 | | |
| 9月16日(土) | 13:30～15:00 | | | 2 | 2 | 4 | | |
| 10月21日(土) | 13:30～15:00 | | | 2 | 0 | 2 | | |
| 11月18日(土) | 13:30～15:00 | | | 4 | 1 | 5 | | |
| 12月16日(土) | 13:30～15:00 | | | 3 | 1 | 4 | | |
| 1月20日(土) | 13:30～15:00 | | | 2 | 2 | 4 | | |
| 2月17日(土) | 13:30～15:00 | | | 3 | 0 | 3 | | |
| 3月16日(土) | 13:30～15:00 | | | 3 | 2 | 5 | | |
| 11回 | 16時間30分 | | | | | 31 | | |
| 企画運営上 の 工 夫 | ・小学生向け囲碁教室事業のほかに、将棋の事業も新たに開始する。 ・初心者を対象とした講座を初回に実施する。講師は、春日部市役所厚生会の囲碁・将棋部部員にお願いする。また、同部員には2回目以降指導・見守りボランティアを2名程度依頼し、安全な運営を心掛ける。 ・2回目以降は講義形式ではなく、参加者同士の自由対局とする。 ・「ジュニア囲碁スクール」とは違い、中学生まで対象範囲を拡大する。 ・「ジュニア囲碁スクール」実施日の午後に実施することで、会場設営の準備作業を削減する。 | | | | | | | |
| 成 果 参加者の 声 など | 小学校1～3年生の参加が大半だったが、講義用に拡大した将棋盤で詰め将棋を指したり、初心者の参加者でも駒の動き方表を使用して指すなど、積極的に将棋を覚えようという姿勢が表れていた。 | | | | | | | |
| 課題と展望 | 小～中学生を対象にしたが、小学校高学年及び中学生の参加はなかった。また、低学年であるため途中で飽きて別のことを始めるケースもあり、公民館へ来てもらうという目的は達成できたが、集客の手段として将棋を使うのは、子ども向けとは言えない。他の手段の検討が必要。 | | | | | | | |

| | | | | | | | |
|---------------|--|-------------------------------------|----------------------------------|-------------------|---------|------------------|--------------------------|
| 事業名 テーマ | 人権教育研修会 | 対象 | 公民館利用者 | 定員 | なし | | |
| ねらい | 人権問題について学習し、正しい理解と認識を深めることをねらいとする。 | | | | | | |
| 協力機関 及び団体 | 公民館利用団体 社会教育課 | 特色 位置づけ | 人権教育 | SDGs の目 標No | 4・10・11 | | |
| 会場 | 粕壁南公民館 (春日部コミュニティセンター) 1階 コミュニティホール | 教材 資料等 | 人権啓発DVD「家庭からふりかえる 人権 話せてよかった」 | | | | |
| 実施までの経過 | ※利用団体代表者会議を活用する。 12月中旬～1月上旬 会議開催通知配布 2月 視聴覚センターへDVDと映写機材を借用 2月10日 事業実施 | PR方法 | ・各団体代表者あてに会議開催通知を直接配布 | | | | |
| | | 受付方法 | 当日、直接参加 | | | | |
| 月日(曜) | 時間 | 内容 | 方法 | 参加者 | | 講師・助言者の職名 氏 名 | |
| 回数 | 総時間数 | | | 男 計 | 女 計 | | 合計 |
| 2月10日(土) | 10:50～11:20 | 利用団体代表者会議に出席した方を対象に人権啓発DVDを視聴してもらった | 会議 | 13 | 21 | 34 | 視聴覚センター (DVD、プロジェクター) |
| 1回 | 30分 | | | 13 | 21 | 34 | |
| 企画運営上の工夫 | (1)利用団体が一堂に会する機会を利用して、人権教育研修会を開催した (2)分かりやすい人権啓発DVDを上映し、一人でも多くの人に人権への意識を高める機会となるようにする | | | | | | |
| 成果 参加者の声など | 大半の方が、人権問題について、理解が深まったと回答しており、事業のねらいを達成することができた。「分かりやすい内容で話すことの大切さを感じた」、「自分の理解不足を感じた」などの感想があり、人権を考える良い機会にすることができた。 | | | | | | |
| 課題と展望 | 利用団体代表者会議・人権教育研修の2点セットでの事業を実施し、集中した時間の中で人権DVDを視聴することができた。次年度においても、利用団体代表者会議・人権教育研修の2点セットでの事業を計画したい。 | | | | | | |

| | | | | | | | | |
|--|--|--|--------------|-----------------------------|--------|-------------------|------------------|--|
| 事業名 テーマ | 粕南ギャラリー | | 対 象 | 定めず | | 定員 | 定めず | |
| ね ら い | 公民館利用団体以外の団体や個人に対し、芸術活動を支援するため、展示スペースを作品展示ギャラリーとして貸し出す。 | | | | | | | |
| 協力機関 及び団体 | 特になし | | 特 色 位置づけ | 重点事業 | | SDGs の目 標No | 4・11 | |
| 会 場 | 春日部コミュニティセンター1階展示ロビー | | 教 材 資 料 等 | 特になし | | | | |
| 実施までの経過 | ・5年2月 事業計画策定 ・4月1日(土) 公民館だより4月号発行 ・4月中貸出の手引き作成 ・4月から貸出開始。 | | PR方法 | 公民館だより4月号で事業告知 各公民館へのチラシ | | | | |
| | | | 受付方法 | 使用希望日の3か月前の最初の開館日から窓口にて受付 | | | | |
| 月日(曜) | 時 間 | 内 容 | 方法 | 参加者 | | | 講師・助言者の職名 氏 名 | |
| 回 数 | 総時間数 | | | 男 計 | 女 計 | 合計 | | |
| グループ・クローバー展 10月17日(日) ゝ 10月22日(日) | 9:00～17:00 最終日 9:00～16:00 | 展示ロビーのスペースを利用し、主に美術系の団体の作品の展示会を開催する。 開催期間を原則連続7日間とし、申込状況次第で延長も可とする。 | | 103 | 238 | 341 | | |
| 藤彩会展 11月14日(火) ゝ 11月18日(土) | 9:00～15:00 | | | 72 | 144 | 216 | | |
| 2回 | 72時間 | | | 175 | 382 | 557 | | |
| 企画運営上の工夫 | ・公民館利用団体以外で市内で活動する団体や個人にも会場を提供する。 ・中央公民館ギャラリーの縮小版という位置づけで運営し、合同展示会も促す。 ・使用料は無料ということをPRし、積極的に利用してもらうよう広報する。 | | | | | | | |
| 成果 参加者の声など | ・今年度初めての実施ということもあり、告知もそれほど行わなかったが、公民館だよりを見て申込みをしてきた団体があり、その展示会を来館時に見た団体からまた申込みがあるなど、複数回の展示会が開催できた。参加団体からも次回また開催したいという声が多かった。 | | | | | | | |
| 課題と展望 | ・使用料無料の展示ロビーで開催できるが、事業自体が周知不足なので、公民館だよりでの告知回数を増やすなどして利用団体を増やしたい。 | | | | | | | |

粕壁地区 19

| | | | | | | | | |
|-----------------|---|-------------------|--------------|--|----|-------------------|-------|--|
| 事業名 テーマ | 粕南すくすくひろば | | 対 象 | 未就学児とその保護者 | | 定 員 | 5～10組 | |
| ね ら い | 就学前の子どもを持つ保護者に会場を提供し、保護者同士の仲間づくりを支援する。保護者が交流している間、必要に応じて春日部市民生委員児童委員協議会にボランティアの託児を依頼する。別途行事を企画・実施し、子ども同士、保護者同士の交流を図る。 | | | | | | | |
| 協力機関 及び団体 | 粕壁西地区民生委員児童委員協議会 | | 特 色 位置づけ | 下記、企画運営上の工夫 参照 | | SDGs の目 標No | 4・11 | |
| 会 場 | 粕壁南公民館（春日部コミュニティセンター） コミュニティホール・和室 | | 教 材 資 料 等 | 講師・スタッフが準備 | | | | |
| 実施までの経過 | 5年2～3月 民生児童委員協議会へ託児相談、こども相談課へ記事相談 4月1日(土) 公民館だより4月号発行 4月中 民生児童委員協議会会長へ託児依頼送付 5月1日(月) 広報かすかべ5月号発行 5月10日(水) 託児協力者と打合せ 5月25日(木) 参加者託児協力者へ報告 | | PR方法 | 公民館だより4月号以降毎月号 広報かすかべ5月号以降毎月号 子育てメール | | | | |
| | | | 受付方法 | 公民館窓口に直接または電話で申し込む | | | | |
| 月日(曜) | 時 間 | 内 容 | 参加者 | | | 講師・助言者の職名 氏 名 | | |
| 回 数 | 総時間数 | | 男 計 | 女 計 | 合計 | | | |
| 6月1日(木) | 10:00～11:30 | 自由にお話 | 1 | 6 | 7 | 須賀 里美 | | |
| 7月6日(木) | 10:00～11:30 | ママが楽しむチェアバレー | 1 | 4 | 5 | | | |
| 8月3日(木) | 10:00～11:30 | 自由にお話 | 中止 | | 0 | | | |
| 9月7日(木) | 10:00～11:30 | 乳幼児救急救命講座 | 3 | 11 | 14 | 春日部市消防本部職員 | | |
| 10月5日(木) | 10:00～11:30 | 親子ヨガ&ビクス | 6 | 18 | 24 | 加藤 啓子 | | |
| 11月2日(木) | 10:00～11:30 | ベビーマッサージ&癒しのコンサート | 7 | 10 | 17 | 早乙女 弘枝ほか4名 | | |
| 12月7日(木) | 10:00～11:30 | 自由にお話 | 中止 | | 0 | 工藤 由紀ほか3名 | | |
| 1月11日(木) | 10:00～11:30 | 自由にお話 | 中止 | | 0 | | | |
| 2月1日(木) | 10:00～11:30 | ママのためのセルフケア | 4 | 7 | 11 | | | |
| 3月7日(木) | 10:00～11:30 | 自由にお話 | 中止 | | 0 | | | |
| 10回 | 15時間 | | 22 | 56 | 78 | | | |
| 企画運営上の工夫 | ・当館で初めて子育てサロンを実施する ・幼児同伴のため、午前中の開催とする ・民生委員・児童委員に託児協力を依頼して、保護者には講座に集中したり保護者同士の情報交換をする時間を作る ・参加者の希望次第で講座を企画することも予定する | | | | | | | |
| 成 果 参加者の声 など | 参加者からは「子どもたちが楽しく過ごして、大人もいい運動になり、笑顔で楽しめた」「まだ子どもを連れて、コンサートなどには行きづらいので、今日のコンサートには感動した。リラックスできた」「子どもを見てもらえていたので、ゆっくり話ができた」などの声があり好評であった。また、地域の方々（粕壁西地区民生委員・児童委員）に託児の協力を依頼したことで、地域との関りも深まった。 | | | | | | | |
| 課題と展望 | 参加者はみな、講座に満足する一方で講座の実施がない月は、参加者が集まらなかった。来年度も継続の予定だが参加者の興味を引き、楽しめる講座を企画し実施したい。 | | | | | | | |

| | | | | | | | | |
|---------------------|--|--|--------------|--------|--------|-------------------|------------------|--|
| 事業名 テーマ | 公民館だより「桐のまち」発行 | | 対 象 | 粕壁地区住民 | | 定 員 | — | |
| ね ら い | 公民館からさまざまなイベント情報等を地域住民に伝達することにより、 公民館利用を促進し、地域における生涯学習活動を醸成する。 | | | | | | | |
| 協力機関 及び団体 | 粕壁地区公民館（中央公民館）、 粕壁南公民館の共同発行 | | 特 色 位置づけ | | | SDGs の目 標No | 4・11 | |
| 会 場 | — | | 教 材 資 料 等 | — | | | | |
| 実施までの 経 過 | (奇数月の) 10日まで 原稿掲載依頼受付 中旬 編集打ち合わせ 下旬 原稿作成、印刷・梱包 広報かすかべ配布予定表により配布 | | PR方法 | — | | | | |
| | | | 受付方法 | — | | | | |
| 月日(曜) | 時 間 | 内 容 | 方法 | 参加者 | | | 講師・助言者の職名 氏 名 | |
| 回 数 | 総時間数 | | | 男 計 | 女 計 | 合計 | | |
| 偶数月(年6回) | | 公民館主催事業の周知 粕壁地区内 約16,400部配布 | | | | | | |
| | |  | | | | | | |
| 6回 | | | | | | | | |
| 企画運営上 の 工 夫 | 掲載記事をより見やすいレイアウトや分かりやすい文章に心がけ、イメージが膨らむ写真やイラストを入れて編集した。 広報配布日の前日までに配布する地域を増やし、配布を担当していただいている地域の方の負担を軽減する工夫をした。 | | | | | | | |
| 成 果 参加者の 声 など | 主催事業のアンケートによると、公民館だよりから情報を得たということが多いことから事業実施のうえで重要な広報手段となっている。また、サークルからのお知らせ情報を掲載することで、利用団体の活動を支援できた。 | | | | | | | |
| 課題と展望 | 今後も一層、必要な情報を正確に伝えるためにレイアウト等を工夫し、見やすく、わかりやすい魅力ある紙面づくりに努める。 | | | | | | | |